

ArCS II × 流氷科学センターコラボ企画 3月19日(日)

第一部 10:30~
それゆけ! 北極パトロール

第二部 14:30~
北極の今を知り未来を考えよう!

ArCS II × GIZA

1日まるごと北極まつり!

2023年3月19日(日) 10:30~12:00

対象: 小学3年生~ 定員: 20名 (小学生300円)

2023年3月19日(日) 14:30~15:45

対象: 高校生以上 定員: 30名 (参加費無料)

北極域研究加速プロジェクト(国立極地研究所)と流氷科学センターが共催する「一日まるごと北極まつり!」を3月19日に開催します。第一部は「それゆけ! 北極パトロール」と題して小学三年生以上を対象に、海氷のワークショップでお楽しみ頂きます。第二部は「北極の今を知り未来を考えよう!」をテーマに、高校生以上を対象としたボードゲームの体験会や、ADS(北極域データアーカイブシステム)を操作しながら北極の環境変化を探り学んで頂きます。どちらも事前申し込みが必要です。詳しくは当センターのホームページ等をご覧ください。

写真展オホーツク物語4 ~#キリトリセカイ~

紋別市内外の写真愛好家が集まった『西紋写真部』による写真展が開催されます。



昨年度の様子

オホーツク地域の魅力溢れる自然風景や動植物など、それぞれの個性が感じられる見応え十分な作品約40点を展示紹介します。日程等は下記のとおりです。

- *****
- ・開催期間: 令和5年3月26日(日)~4月23日(日) ★最終日23日は14:00まで
 - ★期間中の4月3日(月)、10日(月)、17日(月)は休館日
 - ・開催場所: 多目的ホール
 - ・入場料: 無料

こちら鉱物研究所 3月25日(土)

春休み恒例の研究所シリーズを開催します。2022年はユネスコ制定の国際鉱物年で鉱物にちなんだ企画展などを実施しました。そこで今回は鉱物をテーマにした「こちら鉱物研究所」を開催します。クイズや工作などを行い、集めたスタンプで鉱物100gピタリを狙うゲームに挑戦できます。皆様のご参加お待ちしております。



12.1.2月の事業報告

冬のギザまつり



お正月イベント「冬のギザまつり」を開催しました。科学教室 in 冬のギザまつりを実施した他、期間中、北海道オホーツク総合振興局によるエコドライブシミュレーター体験、ゼロカーボンパネル展、オリジナルエコバッグ作り、地球の危機を学べるVR体験を実施しました。また映画会、プラネタリウム、流氷重さ当てクイズなども開催し盛りだくさんの内容となりました。

こんどうしんいち「カラクリクラフト展」

センターでは、初開催となった「カラクリクラフト展」。主催は、滝上町在住で童話村木工房の近藤信一さん。近藤さん手作りのカラクリおもちゃは、細かな繋ぎの部分までも木で作られており、丁寧さと温もりを感じさせました。

作品には、ことわざを表したものや時期にあわせたもの、ユーモアたっぷりのものなど、子どもから大人まで存分に楽しめる作品が揃いました。直に触れることができた本作品展は、たくさんの方に喜ばれ大好評でした。



行事予定

予定しているイベント・展示会は、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした休館などにより、急遽中止や日程変更となる場合があります。

<3月>

- 教育シンポ
中学生の部 ポスター展
日程:2月20日～3月12日
- 今月のプラネタリウム
日程:3月12日
- ArCS II X 流水科学センター
コラボ企画
一日まるごと北極まつり!
・それゆけ! 北極パトロール
・北極の今を知り
未来を考えよう!
日程:3月19日
- 春休みイベント
「こちら館物研究所」
日程:3月25日
- 写真展オホーツク物語4
～#キトリセカイ～
日程:3月26日～4月23日

<4月>

- 写真展オホーツク物語4
～#キトリセカイ～
日程:3月26日～4月23日
- 今月のプラネタリウム
日程:4月9日

<5月>

- GW イベント(予定)
日程:未定
- 今月のプラネタリウム
日程:5月7日

※その他最新情報・
詳細については
ホームページ・facebook
にて随時更新していきます。

コムケ写真展～コムケ案内人が出合った自然風景～



コムケの会主催の「コムケ写真展」が2月5日に終了しました。四季折々の野鳥、草花、風景やソデグロヅル等の大型写真など、コムケ湖の魅力が伝わる約90点の作品で来場者にお楽しみ頂きました。ご来場頂いた皆様ありがとうございました。

～流水の街から～ 今シーズンの流水

今シーズンの流水ですがオホーツク海全体の流水面積は平年並みに推移しています。紋別市での視界内の海面に初めて現れた日である流水初日は2月5日で昨年より16日、平年より12日遅いもので、これまでの68年間の観測において遅い方から4番目の記録となりました。流水接岸初日は2月9日で昨年より19日、平年より1日遅い発表となりました。

紋別の流水初日は記録的に遅かったものの、接岸初日は平年並みとなりガリンコ号や海岸で楽しむことができました。また、稚内では3年振りに流水初日が発表され、根室市では根室市と根室市観光協会が2月17日に流水初日と流水接岸初日を同時に発表しました。

昨シーズンから気象庁での海明け、流水終日の発表がなくなりました。その代わり解像度が格段に良くなった10日先まで確認できる流水の予測図が運用されています。この予想図では3月1日現在、流水は日々離れていく予想となっています。このまま離れていくとすると、流水期間は短いものとなるため、もう少し白い海を楽しみたかったと感じることでしょう。(学芸員 桑原)



GIZAだより Vol.138 発行:北海道立オホーツク流水科学センター

〒094-0023 北海道紋別市元紋別11 TEL (0158)23-5400 FAX (0158)23-9844

[ホームページ] <http://www.giza-ryuhyo.com> [メール] info@giza-ryuhyo.com <http://www.facebook.com/giza.ryuhyo/>

[開館時間] 9:00～17:00 [休館日] 4月3日、10日、17日、24日